

あしきた町議会だより



うたせ

第11号

平成19年
10月30日発行



- 9月定例議会..... P2
- 福田総理大臣へ意見書提出..... P3
- 平成18年度決算を認定..... P4
- 総務常任委員長報告..... P5
- 建設経済常任委員長報告..... P6
- 文教厚生常任委員長報告..... P7
- 一般質問..... P8～11
- 文教厚生常任委員会研修報告..... P12

第3回 芦北町民体育祭

平成 19 年度補正予算を可決

補正額は、一般会計・各特別会計をあわせて3億2,407万3,000円。

会 計 名	補正額	補正後の総額
一 般 会 計	2億5,664万7,000円増	99億9,547万3,000円
国民健康保険特別会計	2,046万2,000円増	31億3,177万7,000円
介護保険特別会計	4,501万7,000円増	19億4,871万7,000円
簡易水道特別会計	173万2,000円増	1億6,823万2,000円
町有温泉特別会計	21万5,000円増	1億 385万7,000円

- 補正予算のおもな内容（一般会計）
- ・障害者住宅改造助成事業補助金 …………… 120万円
 - ・湯浦中学校屋内運動場改築工事実施設計委託料 …… 1,271万円
 - ・総合グラウンド整備工事（屋外トイレ新築工事含む）… 1億6,273万円
 - ・芦北地区排水対策特別事業基礎調査業務委託料 …… 289万円



来年度、改築予定の湯浦中体育館

9月定例議会

9月定例議会は、9月12日に招集され、26日までの15日間の会期で開催した。

上程された議案は、平成19年度一般会計補正予算ほか特別会計補正予算4件、条例の一部改正2件、工事請負契約の締結3件、専決処分の承認1件などで、いずれも慎重審議の結果、原案通り可決した。

平成18年度一般会計・特別会計・水道事業会計の決算については、各常任委員会に付託され、集中審査の結果、認定することに決定した。

また、陳情11件の全てを採択とし、人権擁護委員の推薦につき意見を求める諮問2件についても原案通り答申することに決定した。

一般質問には、4議員が登壇し、執行部の考えをたじた。



グラウンド整備を前倒しで事業実施

補正額1億6,282万円を計上（可決）



工事が進む芦北総合グラウンド

総合グラウンド整備事業は、継続事業として予算措置をしてあったが、文科省関連の補助事業がない状況から、他省庁関係補助事業の要望活動を行う中で、グラウンドと付帯施設の屋外トイレについては総務省所管の地域間交流施設整備事業の事業対象条件を満たすということで、協議の結果、当事業については、

- 1、本年度なら総務省予算に余裕があること。
- 2、2ヶ年事業として認定が可能なこと。
- 3、来年度の事業採択が不明確であること。

以上のような理由から、前倒しして行うことが有利であると判断した。

グラウンド整備については事業費ベースで、本年度7割来年度3割で実施、トイレについては本年度実施する。

真っ清水を3万本販売

大関水特産品化事業について、現在の販売状況と、今後の販売戦略は。



本年度、500ミリを5万本、2リットルを9,000本販売計画しているが、現在3万本ほどを販売し、残りの2万8,000本についても年度内に販売終了の予定である。

また今後の計画は、県内外の販売店の拡大を図りたい。

福田総理大臣へ意見書を提出

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的なインフラであり、その整備は、全国民が熱望するところであるが、本町においても、過疎化・少子高齢化が進行する中、地域生活・地域産業の活性化には、道路の整備水準向上が喫緊の課題であり、町民の切なる願いである。

このような地域の期待、住民の要望に応えるためには、計画的な道路整備の促進と安定的な道路財源の確保は不可欠であるが、昨年12月に閣議決定された「道路特定財源の見直しに関する具体策」が示され、見直しの作業が進められているが、その結果によっては、本町の道路整備にも重大な影響を与えるものと危惧される。

よって道路整備の促進及び財源の確保を強く要望する意見書を衆参両院議長はじめ関係する各大臣に提出することを決定した。

人権擁護委員の推薦



西村 文美氏
(小田浦地区)

平成10年11月から人権擁護委員として委嘱され、現在3期目。



宮川 壽男氏
(小田浦地区)

平成13年11月から人権擁護委員として委嘱され、現在2期目。

田浦地区「鶴農道」を町道認定

9月定例議会に提出された陳情3件を常任委員会へ付託し、審査の結果、全会一致で採択した。

件 名	陳 情 者	付 託 先	結 果
丸尾地区(天月行政区・長沢地区内)家庭排水路整備に関する陳情書	天月区長 才保康廣氏 ほか9名	建設経済	採 択
町道白木松生線上白木橋の改良に関する陳情書	白木区長 宮崎好美氏 ほか3名	〃	〃
芦北町大字田浦字鶴地区「鶴農道」の町道認定についての陳情書	田浦2区長 池邊重明氏 ほか25名	〃	採択(支線を除く)



ドラマ「江上トミ」でのワンシーン

「江上トミ」テレビ放映事業では、本町が生んだ偉人・江上トミ氏を顕彰し、人的な地域資源として後世に伝承することを目的に、ドラマの制作・放映がなされた。

一般会計の歳入決算総額は114億8,106万2千円、歳出決算総額は110億3,228万3千円。自主財源は30億8,726万6千円で歳入総額に占める割合は26・9%、依存財源は83億9,379万6千円で73・1%、経

常収支比率は95・9%となっている。

【企画財政課】

まちづくり支援事業では53区においてコミュニティ活動事業等が実施され、街なみ環境整備事業では、建物修景の補助及び佐敷地区集会所整備の実施設計が行われた。

大関水特産品商品化事業では、地域資源を活かした新たな特産品づくりを目的として、「大関山湧水・真つ清水」の製造の取組みがなされ、500mlペットボトル16,000本、2Lペットボトル4,000本が製造された。

大関水特産品商品化事業では、地域資源を活かした新たな特産品づくりを目的として、「大関山湧水・真つ清水」の製造の取組みがなされ、500mlペットボトル16,000本、2Lペットボトル4,000本が製造された。

【総務課】

芦北町人材育成基本方針が策定され、職員の研修要綱及び人事評価制度の制定が行われた。

庁舎管理では、本庁舎の老朽箇所の修理改修及び耐震診断や、非常用の飲料水補給の

【議会事務局】

視察研修が実施されたほか、会議録の配布や議会だよりの発行が行われた。

総務常任委員長報告

芦北町特産品「大関山湧水・真つ清水」ペットボトル製造販売！

トミ氏を顕彰し、人的な地域資源として後世に伝承することを目的に、ドラマの制作・放映がなされた。

また、高速交通対策関係では、南九州西回り自動車道全線開通に向けての要望活動や、肥薩おれんじ鉄道の利用促進を目的に、肥後田浦駅と佐敷駅の管理業務の受託、通学定期の購入費助成が行われた。

陳情8件を採択

6月定例議会に提出された陳情8件については各常任委員会に付託され、審査の結果、9月定例議会において採択することに決定した。

件名	陳情者	付託先	結果
県道芦北坂本線の部分改良について	横居木区長 福島松男氏 ほか8名	建設経済	採 択
芦北町総合グラウンドの早期改修に関する陳情	芦北町陸上競技協会 会長 内田喜一氏 ほか3名	文教厚生	〃
古石地区生涯学習センター「古石交流館みどりの里」シャワー棟設置について	古石北区長(古石緑創会長) 宮島正文氏 ほか2名	〃	〃
しろやまスカイドームのサブ体育館建設等に関する要望書	芦北町(郡)バドミントン協会 会長 馬城隆吉氏 ほか2名	〃	〃
芦北町総合グラウンドの早期改修に関する要望書	葦北郡軟式野球連盟 会長 古村逸男氏 ほか1名	〃	〃
サブ体育館建設に関する陳情書	葦北郡空手道連盟 会長 井川良一氏 ほか3名	〃	〃
相撲場建設に関する陳情書	芦北町相撲協会 会長 林田孝敏氏 ほか33名	〃	〃
芦北町総合グラウンド改修に伴う体育館の新設に関する陳情書	芦北町ビーチボールバレー協会 会長 篠原紀男氏	〃	〃

ための飲料水補給分水栓が取り付けられた。電子計算費では、コンピュータによる備品管理のための備品管理システムの仮稼動が行われた。交通安全対策事業では、街頭指導等やカーブミラーの設置。防犯対策では、町職員37名による防犯パトロールが組織され、青色回転灯車両を使用した防犯パトロールが行われた。消防費では防火水槽1基、消火栓3基が新設、積載車1台、小型消防ポンプ2台の更新が行われた。

【田浦基幹支所】

庁舎の維持管理等の経費が主で、適正な施設管理に努め、広範囲な業務を関係機関と連携し迅速な事務処理が行われた。

【税務収納課】

平成18年度分町税収入額は14億5,151万5千円、98・90%の徴収率であった。現年度分を調定額で科目別にみると、個人町民税3億9,975万9千円、法人町民税1億2,101万5千円、固定資産税8億918万2千円、軽自動車税4,141万5千円、町たばこ税8,795万2千円となっている。

交通ネットワーク整備に 1億7,633万4千円

建設経済常任委員長報告

【環境衛生課】

自然環境にやさしいまちづくりのための種々取り組みを行っており、町内河川や地下水の水質検査、家庭用生ごみ処理機導入補助などが実施され、合併浄化槽推進は98基を導入した。

【農業委員会事務局】

毎月1回開催された農業委員会総会では、51議案と農地法に基づく申請208件及び地目形状変更届17件を処理した。農業者年金については、経営移譲年金裁定請求者が4人、老齢年金裁定請求者が3人あった。

【農林水産課】

果樹振興対策では、農業生産総合対策事業などにより、デコボンハウス施設の設置や優良品種苗木への改植、柿「太秋」の産地化を目指すための苗木新植及び平棚設置事業を実施している。水産業費については、漁獲

量の減少を改善するための放流を実施したほか、漁船保険料の一部助成、うたせ船等による海底清掃、町内中学生によるうたせ船の体験学習を行っている。

【地籍調査課】

市野瀬地区は、所有者等の閲覧、県の認証及び国の承認を得て法務局へ送付の準備を行い、告地区では、全測量工程が終了した。天月地区では、一筆地調査、地籍図根三角測量及び地籍図根多角測量を実施し、白木地区では外注による一筆地調査を行っている。

【商工観光課】

観光振興対策としては、地元で取れる海産物や農産物等の新鮮な食材を使った特産品開発を行い、観光協会加盟の飲食店等による「芦北カレー街道」の開催や、県が行った「エビ丼フェア」は観光客の誘客にもつながった。観光入

【建設課】

交通ネットワークの整備では、町民生活と密接に関連している道路の整備水準が今なお不十分との認識に立ち、道路改良事業を15路線、交通安全施設設置工事等が58路線、橋梁改修工事など6件が施工され総額は1億7,633万4千円であった。また、災害復旧事業では、



「芦北カレー街道」の作品試食会

平成17年度に発生した災害のうち3件と、平成18年度に発生した災害107件のうち、道路災害30件、河川災害21件が完了している。

【簡易水道事業特別会計】

簡易水道普及率を見ると、給水区域戸数1,729戸の人口4,984人に対して給水は1,330戸の3,756人であり、普及率は75.4パーセントとなっている。また、事業としては、392.6メートルの宮田配水池取付道工事を行った。

【農業集落排水事業特別会計】

平成18年度は、国・県の補助事業を利用して、7月の集中豪雨により被災した芦北地



竣工した与内越橋（田川地区）

区・女島西地区の機械設備等の復旧工事と、非常時にも対応できるようにポンプの増強工事を実施した。

【生活排水処理事業特別会計】

22基の浄化槽設置により、平成7年度からの設置基数は586基となった。また、旧田浦町での浄化槽設置整備事業により設置した12基の浄化槽を本会計に移管した。

【町有温泉事業特別会計】

各施設の入浴者数は、ヘルシーパーク芦北が7.0パーセント、湯浦温泉センターが1.3パーセント増加しているが、計石温泉センターは2.0パーセント、大野温泉センターも9.2パーセント減少している。

【水道事業会計】

営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は3,966万3千円で、さらに営業外収支を差し引いた経常利益は2,814万5千円となっている。また、当年度純利益と前年度からの繰越利益剰余金を合わせた当年度末処分利益剰余金は3,011万2千円である。

芦北町地域福祉計画・障害福祉計画の策定

文教厚生常任委員長報告

【福祉課】

芦北町福祉の基盤をなす、社会福祉協議会、民生児童委員協議会への補助や、住民が安心して生活が送れる地域社会を創るため「芦北町地域福祉計画」が策定された。

障害者福祉対策では、障害者自立支援法の施行により、事業自体の組替えがなされ、制度改正に併せた事業の取組みが行われた。その枠組みを踏まえたサービスの数値目標を設定し、体制の確保推進のため「芦北町障害福祉計画」を策定し、対象者の社会参加の促進が図られた。



星野富弘美術館（お休み処）

児童及び父子・母子福祉対策では、保育所運営費の措置、特別保育事業の継続をはじめ、子ども医療費の一部負担金に対する助成対象を、満9歳まで拡充し、子育て世帯の負担軽減が図られた。

星野富弘美術館では、休憩所として「お休み処」が設置された。

【高齢者対策課】

町立老人ホームの施設運営、介護予防サービス、生活支援サービス、生きた活動支援通所事業や在宅生活における急病や災害等に対応する緊急通報体制等整備事業の整備、老人無料入浴料や老人クラブへの補助等、高齢者福祉対策に係る主な事業が実施された。

【住民生活課】

窓口業務では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録等に関する受付や証明書の交付が行われ、役場の顔として来庁者への懇切、丁寧な接遇により、住民サービスの向上に努めた。

国民年金事務では、市町村の法定受託事務として各種届出書の受付、審査、報告事務を実施した。

保健衛生対策では、関係機関と連携し、地域住民の健康づくり事業が実施された。

【教育課】

芦北町学校教育目標を年頭に学校教育の活性化が図られたことにより、学校訪問や、学力充実研究推進など6校を指定し、5校の研究発表会を開催した。

学校再編では、保護者と地区民への説明会を開催し、その結果、目標最終期日の平成20年4月1日に小田浦・海浦・田浦小学校の3校

統合が決定した。

学校整備では、佐敷小学校が竣工し、1月7日に落成式が行われた。

【生涯学習課】

芦北町総合計画の、施策の大綱として掲げている「豊かな心の人づくり」を基本として、個性が光る魅力的な事業を計画的に実施し、総合的な振興が図られた。

各種町民講座や高齢者向けの「平成いきいき大学」を中心に音楽祭等の実施、佐敷城跡の国指定へ向けた取組み、埋蔵文化財の花岡古町遺跡の発掘調査、佐敷城跡観月会等が開催され、町民の教養と文化意識の向上のための事業が推進された。

スポーツ振興では、競技力の向上と活力ある町づくりの取組みを行い、総合型地域スポーツクラブ育成支援事業では、「JK Aトレジャークラブ」を設立し、「生涯スポーツ社会」の実現へ取組み、競技力向上と健康、体力づくりの育成強化を図られた。

【介護保険事業特別会計】

第3期芦北町老人保健福祉計画並びに介護保険事業計画

医療技術の進歩や高齢化、生活習慣病に起因する疾病も増え医療費が増加しているため、医療費の適正化へ積極的な取組みが図られた。

【国民健康保険事業助定】

医療技術の進歩や高齢化、生活習慣病に起因する疾病も増え医療費が増加しているため、医療費の適正化へ積極的な取組みが図られた。

【国民健康保険直診助定】

近隣住民の人口減少により、年々患者数は減り、非常に厳しい運営状況が続いているため経費削減に努めた。

【老人保健事業特別会計】

75歳以上の老人に対し、医療費の給付及び支給が行われた。1人当たりの医療費は増加している。

【奨学資金貸付事業特別会計】

新規継続を含めて大学生35名、高校5名に貸付が行われ、町内の優秀な生徒で経済的理由により、就学困難者への便宜や将来の社会に有用な人材育成が図られた。

一般質問

地籍調査について



平松議員



一筆作業調査中！

答 町長
当初計画では、平成28年度の完了としていたが、平成16年度より、2年先行して、平成26年度で全地区完了する計

質
職員を充実させるなどして地籍調査事業完了を早める考えはないか。

答 税務収納課長
平成19年4月現在の課税状況によって試算すると、土地の税額で3,800万円程度見込んでいます。完了後の推定では5,000万円程度となる。

答 町長
調査期間中は、調査完了地区と未調査地区との不均一が生じないように全町地籍調査完了後に、新地籍をもつて課税替えをするということになっている。

質
旧芦北町の地籍調査完了地区での固定資産税は旧登記簿のままである。合併後の課税の不均衡をなくす事と厳しい財政事情の中、財源の確保のために正しい課税が必要であるがどのような考えか。

質
画である。これができる限り早期に完了する。

質
地籍調査測量による標識等の管理及び保全の状態について規則が定められているが、道路改修地区、公共工事完了地区では多くの図根三角点が亡失しており、規則が形骸化している標識などの損傷、滅失ほか、異常への対応はどの様になされているか。

答 町長
地籍図根三角点は重要な標識であり、適正に管理及び保全に努めているところである。今後、関係機関と協議を重ね、標識の損傷、滅失がないよう管理及び保全に努めていく。

答 地籍調査課長
損傷、滅失についての協議の場合、これまで少なかったと思う。今後は、そういうことがないように関係課と協議を進めて行きたい。



一般質問

岩崎埋立地を利活用する計画はあるのか



宮尾議員

質
一年前の定例会において、地球温暖化による気象災害、異常気象で、果樹農家の生産量が安定しないので、その対策として、土地取用法の関係で大変困難であろうとの認識を持ちながらも、岩崎埋立地を園芸用のハウス団地として活用出来ないかと質問したが、現段階での状況はどうなっているのか、また、結果は出ているのか。

答 町長
関係課と十分協議を重ねた結果、法律上の制約があるために、利用目的を変更することは困難な状況にある。

質
岩崎埋立地は、基幹支所やおれんじ鉄道の駅に近く、田浦地区の中心地であり、大いに利用価値のある財産だが、永年に渡り有効利用されていない。広く町民が使えるような開発計画はあるのか。

答 町長
具体的な開発計画としては、先に議会と町に対し、グラウンドゴルフ協会から、2,500名を超える方々のグラウン

ドゴルフ場建設に対する要望も提出されており、前向きに検討して行きたい。

色覚異常の認識と配慮について



岩崎埋立地の全景

質
子を持つ母や父は、病气せず健やかにと願うことは、万人に共通することだと思いが、社会には障害を持つ人が多くいる。バリアフリーが進む世の中で、普段の生活では何ら不自由を感じないが、時々困る事がありながら、他人が気付きにくい色覚障害という障害がある。日本人男性は20人に一人の割合で、全国で318万人にもおよぶ。知的障害者を除いた障害者総数を越える極めてありふれた障害であるが、小学校入学時に検査は行われているのか。

答 教育委員長
平成14年の学校保健法の施行で、第4条就学時検診の検査項目からは外れているので、現在は検査していない。

質
多くの人にこの障害があるが、自分やわが子が色覚異常であると初めて気付いた時は、大きなショックと不安が生まれると思う。恥ずべきことではないと理解させる心のケアが大事だと思うが、教育現場において、相談や指導はあるのか。

答 町長
色覚異常や、視覚障害をもつ方々を含め、バリアフリー化等については、関係機関、専門機関等と協議を進めて、できることから対応して行きたい。



色覚バリアフリーシンボルマーク

答 教育委員長
学校現場においては、養護教諭、担任を中心として相談体制を確立し、保護者からの相談を受けて個別の検査指導を行い、必要に応じて専門医の受診を紹介するような適切な対応を図っている。

質
行政や各団体、社会に広く知らせることで色覚についてオープンに話ができ、自信を持って生活出来る社会になると思うが、色覚バリアフリーに向け、改善出来る事から取り組んで行く考えはないか。

一般質問

耐力度・耐震度調査とその結果とその対応策を問う



川尻議員

答 教育委員長
耐力度調査の結果、改築の基準の5,000点未満を下回って3,499点になっているので、湯浦中学校屋内体育館は危険性が十分想定される。今回の結果を踏まえて、平成20年度に改築ということを進めていきたい。

質
その結果を受け今後の具体策と対応は、どう考えているのか。
答 危険施設であつてもそのまま利用、使用するのか。学校、生徒、保護者、地域への説明責任はどうするのか。

答 教育委員長
耐力度調査を実施した結果、改築を必要とする採択基準に達したので、次年度の工事予定で進めている。

質
昭和41年に建設され、老朽化著しい湯浦中学校体育館の耐力度診断調査が完了したと聞く。その結果はどうであつたか。
答 教育委員長
都会と比べると低いかもしれないが、徐々に上がつていくという事は言える。



湯浦中学校体育館

答 町長
耐震診断については、平成18年度に本庁舎を実施した。構造耐震指標値では、安全基準値が、0.650.7以上であり、結果は0.4250.57であった。現在7施設については、診断を続行中である。

答 教育委員長
その他の施設の耐震診断は、計画的に実施中であるが、まだ、その結果は出ていない。

質
その他の町有施設の耐力度、耐震度診断調査の結果と対応はどうなっているのか。
答 教育委員長
教育はすべて子供のためにある。

質
町内業者優先購入配慮の考えであつたのか。
答 町長
地場産業育成の観点から、物品購入に関らず、各種事業においても、町内業者を優先的に選定するよう指示している。

答 総務課長
平成18年度一般会計予算で購入した1万円以上の物品については、総数2,305件で、その内、町内業者からの購入が1,357件であり、6対4の比率になる。

質
物品購入の実態と町内業者への納入状況について、平成18年度一般会計予算で見積依頼による物品1万円以上の購入総件数と、その内、町内業者から購入した件数はどうであつたのか。
答 総務課長
本町の物品購入手続き等は、どのような仕組みになっているのか。見積期間が短い、業者がすでに決まっていると聞かれる。どう受け止めているのか。また、見積書の開封は複数の立会いで行っているのか。

答 総務課長
取り扱い事務については、町内業者からの物品購入について、2年に1回物品の指名入札競争参加資格申請を受付ける。町内118社、町外205社の中から指名している。
質
基本的には、2者であるが、3者以上に見積書を提出してもらい、副町長に了解をとり、担当課で開くことになっている。

物品購入の実態と仕組み問う！

一般質問

教育課題解決のための本町の意気込みは？



宮島議員

質
文科省が行おうとしている授業時数とゆとり教育の見直しについて、芦北町として、どのように対処していくのか。
答 教育委員長
この改革について、教育立町を標榜する本町は、どのような課題を持ち、成果を期待しているのか。

答 教育委員長
課題は、子供の学力の格差を縮めることであり、徳育を根底とした学力の向上にある。

質
それをもとに、我が国と郷土及び国際社会に貢献できる人間の育成を図るということが目標である。

質
学校現場には、基礎学力の向上を求めているが、その成果は出ているのか。
答 教育委員長
都会と比べると低いかもしれないが、徐々に上がつていくという事は言える。

質
「ゆとり教育」は、だれのためのものであつたか。
答 教育委員長
教育はすべて子供のためにある。

質
「学力」または「学力観」をどう捉えているのか、考えを聞きたい。
答 教育委員長
指導要領のキーワードは、生きる力である。その総称が学力であると捉えている。

質
総合的学習を重視して「生きる力」を育てる教育が行われてきたが、その成果と価値はあつたか。
答 教育委員長
生きる力は教育すべての中で生まれるものであり、現在あるいは今後においても時間をかけて養う事で価値が出てくるものと考えている。

質
「ゆとり教育」は、だれのためのものであつたか。
答 教育委員長
教育はすべて子供のためにある。



当初の全景



現在の湯浦慰霊塔公園の全景

湯浦慰霊塔公園の整備に本腰を！

質
現在、雑木の繁茂によって湯浦慰霊塔、温泉神社からの展望が利かない。公園としての機能、価値を高めるためにも、雑木伐採が必要だと思いませんか。
答 町長
湯浦地区の街並み、大関山や、湯浦中学校、湯南方面の展望が十分できている。公園利用者の大半は健康と癒しを求めて散歩されているようである。今後は歩道の安全管理に努め、周辺が湯町急傾斜地崩壊危険区域の上部に位置しているため、災害防止と自然環境保全のためにも現段階で伐採すべきではないと考えている。

答 町長

湯浦地区の街並み、大関山や、湯浦中学校、湯南方面の展望が十分できている。公園利用者の大半は健康と癒しを求めて散歩されているようである。今後は歩道の安全管理に努め、周辺が湯町急傾斜地崩壊危険区域の上部に位置しているため、災害防止と自然環境保全のためにも現段階で伐採すべきではないと考えている。

奄美大島屋内相撲場を視察

文教厚生常任委員会の視察研修は、芦北町相撲協会会長林田孝敏氏他33名及び署名236名により提出された相撲場建設に関する陳情書を審査するため、7月26日、27日の2日間、先進地である奄美体験交流館を研修しました。

交流館の中に移動式相撲場が建設されており、建設に至った経緯についての説明によると、奄美大島は、各集落や小中高校に屋外相撲場が設置され、相撲場を中心とした伝統の祭りが行われており、歴史的に相撲の盛んな地域であるとの事でした。

この施設は日本で青森県に次ぐ2番目の室内移動式相撲場で、平成15年に完成し、県内のわんぱく相撲、中体連、全九州高校相撲大会などが開催されています。落成記念相撲大会では2,000名を超える来場者で盛況に行われました。

また、大きな浴槽、葉草浴槽、サウナ、力士用の大きなトイレなど完備されており、合宿等にも開放されています。

す。相撲場は、電動で移動させ天井から屋根がワイヤーで降りてくる設計となっています。

また、観客席は移動観覧席550席とパイプ椅子で対応し、四方から見られるようになっており、大きな大会の誘致が可能で、多くの相撲大会が開催されています。

建設費は1億3千万円余りで相撲場としてはすべての条件が満たされていました。

以上研修の内容を報告しますが、当町相撲場建設については十分な検討が必要であると感じました。



議会のうごき

- 8月 8日 川辺川ダム建設促進協議会定期総会
- 8月22日 町村議会正副議長研修会
- 8月24日 水俣芦北振興財団理事会
- 8月27日 市町村総合事務組合議会
- 8月28日 全国町村議会シンポジウム
- 9月 8日 水俣芦北地域育樹祭
- 9月12日 定例議会(開会)
- 9月13日 定例議会(一般質問)
- 9月14日 建設経済・文教厚生常任委員会
- 9月18日 総務・文教厚生常任委員会
- 9月19日 総務・建設経済常任委員会
- 9月20日 建設経済・文教厚生常任委員会
- 9月26日 定例議会(最終日)
- 10月 1日 芦北町戦没者追悼式
- 10月 1日 議長会理事・郡事務局長合同会議
- 10月 7日 芦北町民体育祭
- 10月10日 「美しいくまもと創り」リレーフォーラム
- 10月12日 水俣芦北広域行政事務組合議会定例会

編集後記

10月1日、62年目の本町戦没者追悼式が行われた。昭和20年8月15日、苛酷を極めた太平洋戦争は、幾百万の尊い人命と莫大な災害を残し、終戦詔勅によって国民は敗戦を受容した。

この詔勅の刪修に深く関わった故安岡正篤(東洋思想家)は詔勅の原案に「義命の存する所」と「万世の為に大平を開かむと欲す」という言葉を挿入された。しかし、後者は容認されたものの「義命の存する所」の言葉が「時運のおもむく所」に変わってしまった。「時運のおもむく所」とは「成り行きまかせ」ということであり、不節操きわまりない言葉である。

現代の我が国における政治、経済、社会さらには教育、文化においての不節操について、私たちは注視したいものです。

(寺本順二)

議会広報特別委員会

委員長	元山 秀志
副委員長	前田 徹一
委員	宮尾 秀行
宮島 康浩	
白坂 逸男	
古村 順一	
寺本 順一	

